



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー
露木 雄二

- 会長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副会長 山田 正憲
- 副会長 吉田 隆男
- 幹事 西山 潔
- 副幹事 山本 芳弘
- 会計 朝日 達夫
- 副会計 金森 欣一
- S A A 横溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森 永 健



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 第19週報 No. 1766 2012年(平成24年) 11月16日 第1766回例会記録 11月30日発行

司会 西山 潔 幹事

特別行事

◎井戸建設費用贈呈



◎事務局 渡辺さんへ結婚祝い金贈呈

点鐘 飯田 泰之 会長

斉唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 長井 章 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

- 満澤 巨彦 様 (ゲストスピーカー)
- サンバス 様 (スリランカ北中央州州議会委員)
- 鈴木 一男 様 (OWOP協会 会長)
- パンダーラ 様 (OWOP協会 ボランティア)

本日〈11月30日〉のプログラム

優良職場訪問、及び夜間例会

誕生日祝

中村 眞巳 会員 (11月18日) 白鳥 厚夫 会員 (11月19日)
小池 将夫 会員 (11月21日) 我妻 隆邦 会員 (11月21日)
長井 章 会員 (11月22日) 吉橋佐千男 会員 (11月30日)
矢野 修二 会員 (12月3日) 加藤 仁昭 会員 (12月5日)



結婚記念日祝

川邊 正男 会員 (11月17日) 吉橋佐千男 会員 (11月23日)
田中龍太郎 会員 (11月27日) 我妻 隆邦 会員 (11月28日)
飯田 泰之 会員 (11月30日) 大西 弘文 会員 (12月2日)



入会記念日祝

森永 健 会員 (12月1日)



会長報告

飯田 泰之 会長

- ・臨時理事会の報告
- ・先日の指名委員会により次年度会長エレクト候補者として山田正憲現副会長が指名され、臨時理事会により次年度理事・役員候補者選任の承認を得ました。よって規約に則し、本日より12月7日の年次総会まで、次年度理事・役員候補者を掲示致します。
- ・地区大会の報告と表彰 出席会員数 29名



長寿会員表彰・・・山木幹夫会員、岩澤利雄会員



チャリティーゴルフ大会 ニアピン賞 佐藤勝彦会員

幹事報告

西山 潔 幹事

- ・本日、例会終了後に11月度定例理事会を開催致します。
- ・次週、23日は祝日の為、休会。次々週30日は優良職場訪問、及び夜間例会となります。

スマイルボックス

横溝 亘 SAA

富居利貞君 11/3 誕生日祝い (75歳)、11/8 結婚祝い (49回)、ありがとうございます。
加藤仁昭君 誕生日祝い、ありがとうございました。
小池将夫君 ①誕生日祝い、ありがとうございます。節目の年となりました。②関内の市民ギャラリーでの美術展 (ハマ展) に出品して

います。近くにおいでの際はご覧下さい。11/20～12/2迄の間です。

我妻隆邦君 誕生祝いと結婚祝いをダブルで頂きました。盆と正月が一緒に来た気分です。ありがとうございます。

長井 章君 ①満澤様、本日の卓話、よろしくお願い致します。②誕生日祝い、ありがとうございます。

白鳥厚夫君 ①Welcome to Japan Mr. パンダーラ、Mr. サンパス、and 鈴木会長、Please enjoy our meeting. ②誕生祝い、ありがとうございます。

飯田泰之君 ①本日のゲストスピーカー満澤様、卓話、よろしくお願い致します。②先日の地区大会に出席の皆様、ご苦労様でした。③結婚祝い、ありがとうございます。家内共々、記念日を思い出すのに一苦労です。④OWOPの鈴木様、スリランカ州議員サンパス様、OWOPボランティアのパンダーラ様、ようこそいらっしゃいました。

川邊正男君 結婚祝い、ありがとうございます。明日11/17で43回目となります。

田中龍太郎君 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。結婚して29年が経ちました。

森永 健君 入会祝い、ありがとうございます。

山本 登君 何故か個人的に現在花粉症が極期です。花粉の粉ならいいんだけど・・・。

西山 潔君 サンパス様、パンダーラ様、鈴木会長、ようこそいらっしゃいました。②満澤様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

山田富雄君 河野さん、毎年ありがとうございます。

山田正憲君 ①満澤巨彦様、お話し楽しみにしています。②寒くなりましたが、猛暑の中、サッカー日本代表勝ちました。

小山市康君 満澤巨彦様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

11月16日	15件	83,000円
本年度累計		948,500円

出席報告

竹山 洋 出席委員長

会員総数	55名	(38+17)名	
出席会員数	37名	(26+11)名	
出席率	79.59%		
ゲスト	4名	ビジター	0名
前回補正後	88.68%	前々回補正後	90.20%

卓 話

「JAMSTEC(海洋研究開発機構)の研究開発の現状と最新成果」

(独) 海洋研究開発機構(JAMSTEC) 事業推進部広報課 課長
満澤 巨彦 様
(紹介者 職業奉仕委員会 長井 章 委員長)



「海洋研究開発機構 (Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology : JAMSTEC)」は、1971年10月1日に前身の組織である認可法人「海洋科学技術センター」として発足し、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的として、2004年4月1日に「独立行政法人海洋研究開発機構」と新たに発足しました。2012年4月に平 朝彦が理事長に就任し、地球と生命の進化、地球環境の変遷と今後の予測などの統一的理解を目指す新たなサイエンスの枠組みとして「海洋地球生命科学」を切り拓くことを目標として掲げております。現在、横須賀本部、横浜研究所を中核として、青森県にむつ研究所、高知県に高知コア研究所、沖縄県に国際海洋環境情報研究センターの5か所を拠点として約1200人の職員が研究活動あるいはそれを支える業務を担っております。研究分野としては、地球環境変動、地球内部ダイナミクス、海洋・極限環境生物圏に関する研究、海底資源については成因解明や探査技術の開発、東海・東南海・南海地震の震源となる南海トラフの海底地震観測ネットワークの開発・構築をはじめとする地震・津波に関わる研究開発を行っています。これら研究開発を支える設備として有人潜水調査船「しんかい6500」とその支援母船「よこすか」、地球深部探査船「ちきゅう」など8隻の調査船と1隻の潜水船を所有し、「ハイパードルフィン」と呼ばれる3000m級無人探査機等を運用しております。また、横浜研究所では、スーパーコンピュータ「地球シミュレータ」が2002年より稼働し、地球温暖化予測や地球内部変動研究等の地球科学分野を含めた様々な研究分野に活用されています。特に地球温暖化予測ではその成果がIPCCのノーベル平和賞受賞へ貢献し、地震・津波の予測、台風の高精度予測などで成果をあげております。

最近の成果としては、「海水減少で北極海の下層雲が減少」「伊豆大島南方の大室ダシにおける浅海海底熱水域の活動状況の調査について」などのプレス発表を始め、東日本太平洋沖地震に関する一連の調査研究により、陸側斜面の海溝軸付近では、海底が約50m東へ移動、平均7m上方へ移動したことを確認し、「しんかい6500」による震源域における潜航調査による海底の新たな亀裂やバクテリアマットの発見、「ちきゅう」による地震で動いたと思われるプレート境界断層の掘削、海域における放射能濃度のモニタリングな

どを行ってきました。

以上のようにJAMSTECは、基礎科学技術を含め、大学など他の研究教育機関との連携、幅広い国際協力に邁進するとともに、社会が抱える様々な課題の解決に向けた現実的ソリューションを提供・支援する世界をリードする研究機関とし、研究活動を行っています。

本日の卓話では、JAMSTECがどのような組織かをご紹介します、多々ある成果の中で、防災に関わる研究開発や成果について紹介させていただきます。

2012-13 年度R青少年交換学生 マンスリーレポート

Monthly Report / October 2012

Lisa OBATA/USA

学校生活について

《昼食》

ランチは食堂で食べます。生徒達はクラスごとに決められた3つの時間帯に合わせて移動します。体育館ほどの大きさで、机と椅子が配置されています。私の学校は給食制ではなく家からお弁当を持ち込むか食堂で購入します。メインディッシュごとに5つのブースに分けられています。生徒はラインにそって好きな飲み物、食べたいものを自分で選んでプレートに“直接”よそいます。支払い時にはほとんどの生徒が指紋認証によるプリペイドシステムを利用します。校内にはアイス、スナック、飲み物の自販機があるので現金を持ってくる人もいますが盗難などの面倒事を避けるためにこのプリペイドシステムが採用されています。指紋登録をしていない生徒もスナックカードというカードについているバーコードを提示してプリペイドシステムを使うことができます。このスナックカードには日本でいう生徒証の役割もあります。

《クラブ活動》

高校には2つのタイプのクラブ活動があります。一つは毎週水曜日のactive periodの時間で活動するクラブ、委員会活動的なものや専門的な文化部が多いです。日本の環境委員のように各クラスのゴミを回収するクラブだったり、日本語クラブや語学部だったり、機械工学部や写真部だったりします。もう一つは放課後に活動するクラブ、これはすべて運動部です。日本との違いはシーズンごとに種目が変わり(バレー・サッカー・テニス・フットボール、バスケット・クロスカントリー、陸上・ゴルフ・テニス・ソフトボール・野球)、ほとんどの休日の練習は午前中に終わり、チームに参加するためにはトライアウトを受けなければならないということです。このトライアウトでレベルごとに3チームに分けられます。もちろんクラブによっては人数制限があるためチームに入る事ができない場合があります。

《登下校》

登下校は家族による送迎かセルフドライブかスクールバスの3つです。ほとんどの生徒はスクールバスを利用しています。(スクールバスとは、よく映画やドラマで見るあの黄色いバスのことです)私も特に用事がない時以外はスクールバスに乗っています。エリアごとに数十台のバスに担当区分が分けられていて担当ドライバーによってはおしゃべりも許されないバスがあるんだとか。私のバスのドライバーさんはとても優しくてヤングライクなおばあちゃん、走行中はかっこいい愛用サングラスをかけて週間ミュージックチャートのラジオ放送を流しています。

ハロウィンの日には全員にお菓子を配ったりしていました。流行の曲を口ずさみながらスクールバスに乗る毎日はアメリカにいることを実感させます。

さて、10月はハロウィンのトリック・オア・トリートでおなじみですがそれは小さい子供向けで多くの高校生はお菓子を配る側にまわったり、ハロウィンパーティーという名のどんちゃん騒ぎをしたりしています。私はホストシスター達と一緒にお菓子をもらいにまわってから友達に誘われてパーティーにも参加しました。パーティーには知らない人ばかりで正直最初は早く家に帰りたいかかったのですが人が増えるにつれパーティーも盛り上がりを見せ、終わってから考えてみると楽しい夜だったと思います。

よく留学で性格が変わると聞いていましたが、今の私は半分を肯定、半分を否定できるような状態です。それは何故か、“英語を使う”ということが影響しています。英語を喋るといことは私を内気にさせ、下を向かせていました。失敗を恐れたためです。さらに多くの留学生がつまづくように日本語で文章を考え、それを必死に訳そうとして、結局訳せなかったということも一つの要因です。また他には、英語を使うといった点で、例えばエッセイを書いたり友達と話をしたりする時に、感じることは英語の率直さです。結論、後より理由。日本語ほどの分厚いオブラートな言い回しやいきなりの意見転換を必要としないことで、自分の言いたいこと、考えている事を常にまとめているイメージがあります。考える時間を不自然に伸ばしているとすこし馬鹿にみえる。そういったスタンスの中で生活していくことで自分の将来や人に対する見方まで変わっていくのが自分でも分かりました。

今の段階ではありますが、根本的な性格は1ミリも変わってないように思え、ただ変わったとするなら、それは性格が変わったというより人として少しだけ成長したということなのだと思います。

次回《12月7日》の卓話予定

テーマ「出版という商売と文化」

元株立風書房 代表取締役 阿部庄之助 様

(紹介者 小山 市康 会員)